



令和7年1月15日

広島大学平和センター主催 広島平和記念資料館共催
(国立大学経営改革促進事業)
被爆80年・ノーベル平和賞受賞記念

令和6年度市民公開講座
「ヒバクシャ、国境を越えて記憶を継なく」
を開催します

情報提供

広島大学平和センターは、広島平和記念資料館と、市民公開講座「ヒバクシャ、国境を越えて記憶を継なく」を開催します。

今年の被爆80年と昨年 of 日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞を記念し、越境して被爆の実相とその記憶を伝え広めるヒバクシャから、オスロでの授賞式と翌日のフォーラムの様態を伺うほか、海外ヒロシマ・ナガサキ原爆・平和展や非核特使の証言について報告します。国際交流に詳しい専門家を迎えたパネルディスカッションでは、被爆81年以降、被爆の記憶をどう継(つ)ないでいくのか、国際レベルの課題として、参加者と共に議論します。

日時：令和7年1月25日(土) 12:30~15:00(開場 12:00)

会場：広島平和記念資料館東館地下1階メモリアルホール

定員：300人

プログラム：

【開会挨拶】川野徳幸(広島大学平和センター長)

【基調講演】朝長万左男

(長崎県被爆者手帳友の会会長、日本赤十字社長崎原爆病院名誉院長)

【特別報告】小倉桂子(平和のためのヒロシマ通訳者グループ代表)

【海外ヒロシマ・ナガサキ原爆・平和展の報告】

石田芳文(広島平和記念資料館館長)

<非核特使挨拶> 八幡照子・笠岡貞江(被爆体験証言者)

【パネルディスカッション】

<討論者>原田浩

(元広島市国際平和担当理事(兼)広島平和記念資料館第9代館長)

<モデレーター>ファンデルドゥース瑠璃(広島大学平和センター准教授)

使用言語：日本語(手話通訳・日英会議通訳あり)

参加費：無料

参加方法：以下のQRコードまたはURLからお申込下さい。

(締切：令和7年1月24日(金)12時)



<https://forms.office.com/r/HmMXHSgknU>

【お問い合わせ先】

広島大学平和センター

Tel: 082-542-6975(平日9:30~16:30)

Fax: 082-245-0585

E-mail: heiwa@hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 3枚(本票含む)



広島大学平和センター主催 広島平和記念資料館共催
国立大学経営改革促進事業

科研費
KAKENHI
JSPS21KK0032



令和6年度（2024年度）市民公開講座

ヒバクシャ、国境を越えて記憶を継ぐ

被爆80年・ノーベル平和賞受賞記念

基調報告 朝長万左男

（長崎県被爆者手帳友の会会長、日本赤十字社長崎原爆病院名誉院長）

特別報告 小倉桂子

（平和のためのヒロシマ通訳者グループ代表）

海外ヒロシマ・ナガサキ 原爆・平和展の報告

石田芳文 （広島平和記念資料館館長）

非核特使挨拶 八幡照子・笠岡貞江（被爆体験証言者）

パネルディスカッション

討論者 原田浩（元広島市国際平和担当理事（兼）広島平和記念資料館館長第9代）

モデレーター ファンデルドゥース瑠璃（広島大学平和センター准教授）

2025年1月25日(土)

12:00開場

12:30-15:00



日英会議通訳
手話通訳 完備

<https://forms.office.com/r/HmMXHSgknU>



広島平和記念資料館
東館地下1階
メモリアルホール

参加無料・要予約
1月24日（金）正午必着

広島大学平和センター
受付平日（9:30-16:30）
Tel: 082-542-6975
Fax: 082-245-0585

広島平和記念資料館所蔵
寄贈 Larry Bonds氏



広島大学平和センター主催 広島平和記念資料館共催
国立大学経営改革促進事業

科研費
KAKENHI
JSPS21KK0032



令和6年度（2024年度）市民公開講座 被爆80年・ノーベル平和賞受賞記念

ヒバクシャ、国境を越えて記憶を継ぐ

2025年1月25日（土）12:00開場 12:30-15:00 広島平和記念資料館東館地下1階メモリアルホール

12:30-12:35 開会の挨拶・主旨説明



川野徳幸 Noriyuki KAWANO 広島大学平和センター長、平和センター・大学院人間社会科学研究科教授。博士（医学）。広島大学原爆放射線医科学研究所附属国際放射線情報センター助手・助教・広島大学平和科学研究センター准教授などを経て、2013年6月から同センター教授。2017年4月、センター長に就任。専門は、原爆・被ばく研究・平和学。

12:35-13:05 基調報告 日本被団協の受賞の重みと記念フォーラム「困難を極める世界の核情勢をいかに乗り越えるか」～ヒバクシャ人生80年をこえる人体影響の真実～



朝長万左男 Masao TOMONAGA 長崎県被爆者手帳友の会会長、日本赤十字社長崎原爆病院名誉院長。核兵器廃絶地球市民長崎集会実行委員会委員長。1943年長崎市生まれ。2歳のときに、母親とともに爆心地から2.7kmの距離で被爆。長崎大医学部卒、同大で40年間血液内科医として被爆者医療および白血病の研究にあたる。

13:05-13:30 特別報告 「オスロで出会った広島」



小倉桂子 Keiko OGURA 平和のためのヒロシマ通訳者グループ代表。広島女学院大学英文学部卒業。8才の時に爆心地より2.4キロの広島市牛田町で被爆。1980年以来、通訳・コーディネーターとして、日本を訪れる平和運動家、作家、学者、メディア関係者などを支援してきた。英語で年間およそ2,000人に自らの被爆体験を伝え続けている。

13:30-13:55 「海外でのヒロシマ・ナガサキ原爆・平和展の開催について」



石田芳文 Yoshifumi ISHIDA 広島平和記念資料館館長。広島大学法学部卒。1986年に広島市役所入庁。市民局被爆体験継承担当課長、企画総務局連携推進担当部長、議会事務局長などを歴任。担当課長時に平和記念資料館再整備計画、被爆体験伝承者養成事業に携わる。2024年4月より現職。

被爆体験証言者挨拶 非核特使 八幡照子（アルゼンチン共和国）・笠岡貞江（スロバニア共和国）

13:55-14:05 休憩

14:05-14:55 登壇者パネルディスカッション・質疑応答



原田浩 Hiroshi HARADA 元広島市国際平和担当理事（兼）広島平和記念資料館館長第9代。早稲田大学卒。戦争の悲惨さ、原爆の恐ろしさを世界に発信し続け、平和活動を推進。6歳の時、広島駅で原爆被爆の体験を持つ。被爆者の平均年齢が85歳を超え、被爆体験を語れる最後の世代として真実を伝え続け、核兵器の廃絶、国際・平和の貢献に努めている。



モデレーター：ファンデルドゥース瑠璃 Luli van der DOES。広島大学平和センター・大学院人間社会科学研究科准教授。ケンブリッジ大学応用言語学部、シェフィールド大学社会科学部卒。ケンブリッジ大学中東・東洋学部研究員、シェフィールド大学東洋学研究所日本学コースダイレクターを経て2019年より現職。「記憶学」設置プロジェクト代表。

14:55-15:00 閉会の挨拶

石田芳文 Yoshifumi ISHIDA 広島平和記念資料館館長

参加無料・要予約 1月24日（金）正午必着

申込み方法 URL: <https://forms.office.com/r/HmMXHSgknU>

Tel: 082-542-6975 ・ Fax: 082-245-0585（平日 9:30-16:30）

